

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

株式会社スムージースタジオはIT実装支援を行います。

I. 戦略背景・目的

背景：

デジタル化が急速に進展する現代において、企業が持続的な成長を実現するためには、最新のIT技術の導入・統合が不可欠です。株式会社スムージースタジオは、自社の技術力と市場知見を基盤に、パートナー企業と協働しながら、業界全体のデジタルトランスフォーメーションを推進する体制を構築することを狙いとしています。

目的：

- ・ パートナー企業のIT基盤の刷新・最適化を実現し、業務効率・生産性向上を支援する。
- ・ クラウド、AI、IoT、セキュリティなどの先端技術の導入を通じ、各企業の競争力強化に貢献する。
- ・ 共同での技術開発・知見共有により、新たなビジネス価値の創出と業界全体のイノベーションを促進する。

II. IT実装支援取り組みの主要コンテンツ

1. システムインテグレーション支援

現状分析と最適化設計：

パートナー企業の現状システムや業務プロセスを詳細に分析し、ボトルネックや改善点を特定。これに基づき、最新のシステムアーキテクチャへの移行計画を策定します。

統合プラットフォームの構築：

異種システム間の連携を促進するため、API統合やミドルウェア導入を推進。これにより、データ

の一元管理とリアルタイムな情報共有を実現します。

2. クラウド・デジタルトランスフォーメーション推進

クラウド移行支援：

AWS、Azure、Google Cloud Platform などの主要クラウドサービスへの移行を支援し、オンプレミス環境からの脱却を図ります。

- 現状評価、移行計画の策定、リスクアセスメントを実施。
- ハイブリッドクラウド環境の構築による柔軟な運用を実現。

クラウドネイティブなアプリケーション設計：

コンテナ技術（例：Docker、Kubernetes）の導入を通じ、スケーラブルで柔軟なアプリケーション開発・運用をサポートします。

3. AI・データ分析実装支援

AI ソリューションの共同開発：

パートナー企業向けに、業界特有のデータを活用した AI アルゴリズムや機械学習モデルの共同開発プロジェクトを立ち上げます。

予測分析、自然言語処理、画像解析などの領域で実用性の高いソリューションを提供。

データパイプラインと BI ツールの統合：

各企業が持つ大量データの効率的な取り込み・加工・可視化を支援し、迅速な意思決定を可能にするデジタル基盤の構築を推進します。

4. 業務自動化（RPA）とプロセス改善

業務プロセスの標準化・自動化：

RPA ツールの導入支援により、反復的な業務プロセスの自動化と業務フローの最適化を実現。

現状の業務フロー分析、ツール選定、シナリオ作成、パイロットプロジェクト実施。

プロセス改善のベストプラクティス共有：

複数のパートナー間で成功事例や改善策を共有するためのオンラインプラットフォームを運用し、継続的なプロセス改善のサイクルを確立します。

5. IT セキュリティ強化とガバナンス

セキュリティリスク評価と対策：

パートナー企業のシステム全体に対するセキュリティ監査を実施し、最新の脅威に対応した対プラ

ンを策定。

セキュリティ診断、脆弱性評価、サイバー攻撃シミュレーションを含む。

統合セキュリティ監視システムの導入：

リアルタイムなセキュリティモニタリングとインシデント対応のため、統合セキュリティ情報管理（SIEM）システムの導入を支援します。

6. コンサルティングおよび教育プログラム

IT 戦略コンサルティング：

パートナー企業の経営層や現場担当者に対して、最新の IT トrendやデジタルトランスフォーメーション戦略のコンサルティングを提供します。

技術研修・ワークショップ：

実装支援に関する専門知識やツールの使用法、運用管理手法に関する定期的なセミナーやワークショップを開催。オンライン・オフライン双方で、技術研修プログラムやベストプラクティス講座を実施。

Ⅲ. 実装支援体制と運用モデル

A. 組織体制

専門家チームの編成：

システムエンジニア、クラウドアーキテクト、データサイエンティスト、セキュリティスペシャリスト、業務プロセスコンサルタントなど、分野別のエキスパートを集結させ、専任チームを編成します。

プロジェクトマネジメント体制：

各プロジェクトに対し、専任のプロジェクトマネージャーが進捗管理・リスク管理を実施し、定期報告・レビューを通じて透明性の高い運営を実現します。

B. パートナー連携の推進

定期ミーティングと情報共有：

パートナー企業との定例会議やオンラインプラットフォームを通じ、技術情報、導入事例、改善策の共有を促進します。

共創ラボの設立：

共同で新技術の実証実験を行う共創ラボを設置し、実装支援の成果やノウハウを実践的に検証、フ

ードバックする仕組みを構築します。

IV. まとめ

株式会社スミュージースタジオは、パートナーシップ構築宣言を通じ、パートナー企業のデジタルトランスフォーメーションを包括的に支援するため、以下の取り組みを展開します。

システムインテグレーションからクラウド移行、AI 活用、業務自動化まで、各分野の最先端技術を用いた実装支援。

専門家チームの編成と共創ラボの設立により、パートナー企業との連携を強化。

定期的なコンサルティングと教育プログラムを実施し、持続的な技術革新と運用改善を実現。

これにより、パートナー企業は最新の IT 技術を迅速かつ効率的に導入し、市場競争力を大幅に向上させるとともに、業界全体のイノベーション創出に寄与することが期待されます。

【結論】

株式会社スミュージースタジオは、パートナーシップ構築宣言を契機に、上記の IT 実装支援プログラムを通じた包括的なデジタルトランスフォーメーション支援を実施することで、共に新たなビジネス価値を創出し、業界全体の未来を切り拓くリーディングカンパニーとしての地位を確固たるものとする狙いです。

「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

②手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形等で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを60日以内とします。

③知的財産・ノウハウ

「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

その他

共同プロジェクトの具体的ロードマップ構築に取り組みます。また、CSR/SDGs 実現、リスク管理、継続改善体制の強化にも取り組み、透明性と信頼性の向上を目指します。

2025 年 03 月 26 日

株式会社スムージースタジオ

代表取締役 高橋 大河